

通勤・通学だけじゃない、景観美やイベントの数々

# フルーツライン 左沢線を再発見。

大正11年の全線開通から93年の長きにわたり、大江町・寒河江市・中山町の人々の足を支えてきた左沢線。昭和47年までSLが運行していた歴史のある路線は、今もみんなの夢を乗せて走り続けています。

取材協力／東日本旅客鉄道株式会社 左沢線営業所  
取材／茂木勝之 デザイン／星川忠平 写真／奥山茂俊



## 運転だけじゃない、二人5役の 左沢線運転士の仕事

〈Moriver編集部〉 地元大江町の出身で左沢線の運転士として働く庄司拓実さんに、普段のお仕事の様子や左沢線の魅力について、また、左沢線営業所所長（寒河江駅長）の遠藤伸一さんには、左沢線の歴史やイベント企画に関するお話をお伺いしました。

『列車の一番前で  
景色を眺めてみたい』が  
運転士への憧れに

― 運転士になる前、左沢線を利用して  
いましたか？

**庄司** 地元大江町出身、高校も地元だったので、通学ではなく寒河江市へアルバイトに行くときに1年半ほど利用していました。

― 左沢線での印象深い思い出は？



左沢線営業所 運転士 庄司拓実さん

で入社式があり、前日入りするため  
に仙台へ朝早い列車で向かうこと  
になりました。高校時代の友人がすこ  
く雪が降っている中、左沢駅で見送っ  
てくれたのが印象に残っています。そ  
れから、普段から通学等で利用して  
いない分、列車が遅れるという概念が  
なかったのが、冬に当たり前に定時で  
動いているのがすごいことだったと入  
社してから思いますね。

― 運転士を目指したきっかけを教え  
てください。

**庄司** 鉄道会社に入社したからには、  
列車を運転してみたいですし、一番前  
での眺めを見てみたいと思ったんで  
す。左沢線は一番前にいくとすぐ隣に  
運転士さんがいて、気を遣ってなかな  
か行けなかったものです。

― 運転士になるにはどんなことを学  
びますか？

**庄司** 白河の総合研修センターで学  
科を4ヶ月、現場で実際の運転のこ  
とを約半年間学びます。学科、仮免、実  
地と自動車教習に似ています。また、  
左沢線は気動車といってディーゼルエ  
ンジンの運転免許も取らなくてはな  
りません。気動車の免許がないと、左  
沢線の列車は運転できないんです。



車両の清掃も自分たちの手で

車両の運転から清掃、車掌  
まで様々な役割をこなして  
左沢線の運行を支える

― 運転士の仕事内容にはどんなも  
のがありますか？

**庄司** お客さまを目的地まで安全か  
つ時間を正確に運ぶことが第一です。  
運転だけではない列車の点検など表  
にでない部分の仕事も多くあります。  
車掌が乗務しないワンマン列車が主で、  
そのときは運転士が車掌も兼務しま  
す。他に車両点検、検修、車両の入れ  
換え時にポイントを返す入換の仕事  
も兼任です。それに、列車の清掃もし  
ていますので、運転士、車掌、検修、誘  
導、車両の外板清掃の一人5役ですね。

― 仕事で気を付けていることは？

**庄司** 運転の時間と、お客さまが揺  
れないように停めることです。お年寄  
りの方等へのコミュニケーションも大  
切にしています。

― 乗車中の雰囲気はいかがですか？

**庄司** 高校生が、優先席を必要とす  
る方に、席を譲ってくれるアットホー  
ムさがあります。

― 運転士になって良かったことは？

**庄司** 駅でお出迎えやお見送りをし  
ている様子がドラマのようで、それを  
見られるのは乗務員の特典かなと思  
います。あとは子ども達に手を振って  
もらったときも嬉しいですね。

― 運転士になるのが夢という子ども  
達にメッセージをどうぞ。

**庄司** 今できることを一生懸命やる  
ことじゃないかと思います。なんでも  
まずチャレンジしてみるんです。



お客さまを目的地まで安全に運ぶために、確認は怠りません

電車ではなくディーゼルで動く気動車

